



リーベル通信



発行責任者：NPO法人八女地区障害者相談支援センターリーベル
 住所：八女市本町 17-2 電話：0943-22-2610 Fax：22-2664
 Email：libel-yame@marble.ocn.ne.jp



教育と福祉の連繫を!!

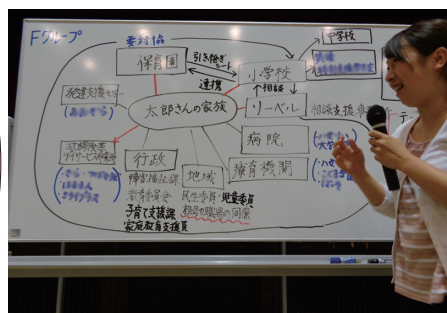
第4回リーベルネットワーク研修会を開催

8月1日、八女市教育委員会との共催で、第4回目のリーベルネットワーク会議を開催しました。今年度は、大牟田市にある「こども家庭支援センターあまぎやま」主任相談員の坂口明夫氏を講師としてお招きし、「子どもと家庭の未来と権利を守るため ～ ファミリーソーシャルワークの視点」と題して講演をいただきました。先生は、継続的に東北の震災被災者の子どもたちの支援をされていますが、当日も前日まで支援をされた後の八女市入りという忙しさで、東北での子どもたちの状況報告を含め、子どもたちへの支援、家族への支援について具体的にお話をいただきました。

講演の後は、事例を通したグループワーク討議を行いました。しょうがいのある当事者（児童）とその家族をどのように支援していけばいいのか、そのためにどのような関係機関がつながっていけばいいのか、を協議しました。



学校の先生方と福祉職員等が一緒にグループ協議をしました。



坂口氏のお話をまた聞きたい、というご意見を多数いただきました。

特別支援教育コーディネーターや特別支援学級の担任の先生方と、行政、福祉サービス事業所の職員と一緒に事例を検討しました。「地域にはこんな事業所やサービスがあったのか」「家庭児童相談室ってどんなことがしてもらえるの?」さまざまな質問が飛び交い、それぞれの立場から当事者と家族の支援体制等熱心に考えていただきました。

坂口先生の名刺には、相談員ではなく、「想」談員と記載されています。相談員とは、人を想う気持ちと、想像する（イマジネーション）が大事であるというお話がありましたが、私たちリーベル職員も「想談員」になれるよう、日々研鑽していきたいと思います。

<アンケートより抜粋>

- ・坂口先生のお話の中で、あせらない、あきらめない、ありのままでいることの大切さがわかりました。
- ・今日の研修会では、たくさんの情報をいだけて本当に良かったです。「分かる」「分かってほしい」の違いにハッとさせられました。
- ・なんとなく分かっていた連携機関などが、図式化することではっきり見えることがわかった。

教育分科会

「まい」さんの 今までとこれから

6月25日、第19回目の教育分科会を開催しました。今回はオープンしたばかりの子育て支援総合施設「やめっこ未来館」で行いました。講師として、八女市育ちの女子大生、「池田まい」さんをお願いしました。テーマは「今までとこれから ～ まいさんの想いを聴く」です。

「まい」さんは、手と足に軽いマヒがあり、今でもリハビリテーションに通われています。そんな「まい」さんですが、チャレンジ精神旺盛で、現在は久留米大学文学部国際文化学科、英語コミュニケーション専攻で学ばれています。小学校から中学、高校までの恩師の先生方にも参加いただき、「まい」さんのこれまでの生活をたどり、そしてこれから

の夢を対談形式でお話いただきました。「まい」さんの前向きな考え方に参加者の全員が元気をもらい、また「まい」さんを育ててこられたご家族の愛情の深さを感じることができました。恩師の先生方も成長を感じていただいたようで、うちの学校でもお話をしてほしいという声かけもありました。



八女で育ち、これからの八女を担う若い力となるであろう「まい」さん。学生生活を大いに楽しみ、今回の続きをまたいつか聞かせていただきたいと思います。

相談支援分科会

計画相談事例を検討していきます

相談支援部門では、平成25年10月から八女地区の相談事業所が集まり意見交換会を重ねてきました。そして今年4月、自立支援協議会の承認を得て相談支援分科会としての活動が始まりました。

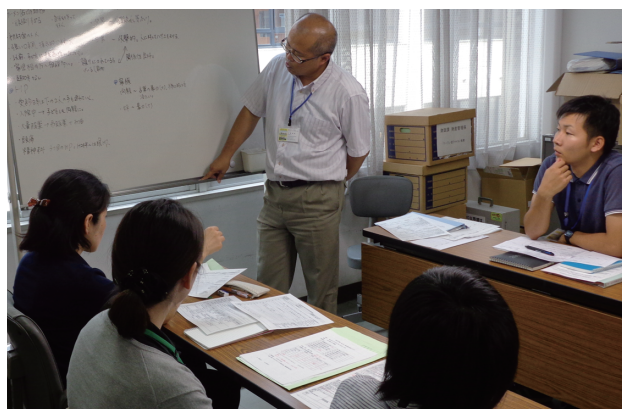
相談支援分科会では、相談支援専門員としての資質向上や取り組む姿勢、誰のための計画なのか等、相談支援専門員としての軸にブレがないように基礎をしっかりと学び、利用される方が、八女市内のどの事業所に依頼さ

れても大丈夫なように、相談支援専門員としてのスキルアップ図っています。

7月16日(水)に開催した第1回分科会では各事業所から計13名の参加者が集まり事例検討を行いました。

相談支援専門員として福祉サービスを希望される方と関わるなかで「ご本人の思い」をしっかりと聴き、その思いが利用計画に反映されているか、その人が思い描く将来像や、これからどんな目標を持って生活をしていかれるのか、ということをしっかりと考えながら利用計画を作成していけるよう、分科会を通して意見を出しあい、学んでいきたいと思っています。

今年度の計画は、事例検討会の定例化と「サービス管理責任者と相談支援専門員の連携」と題し、個別支援計画を作成するサービス管理責任者との合同研修も予定しています。



生活分科会

新しい出会いを求めて

第2回グループホームのつどい

7月27日、おりなす八女において、第2回グループホームのつどいを開催しました。参加者は、利用者53名とスタッフ24名の計77名でした。

今回は、八女警察署生活安全課の高尾氏より、自転車の乗り方や携帯電話の取り扱いなど安全な生活を送るうえでの役立つ情報を、大きな体と声で、とてもわかりやすく話していただきました。実際に詐欺まがいの電話を受けた参加者もあり、質疑でも大いに盛り上がりました。

今後は、今日の話を参考にして自転車を安全に運転したいとの感想が聞かれました。

昼食後はグループ対抗の段ボール箱運びのゲームを行いました。陽だまりの里スッフの角さんの軽快な進行のなか、さらりと運ばれる上手な方もいて驚きの声もあがり、盛り上がりました。

今回は違うホームの方たちとのグループ構成とし、食事やゲームで競いあったり、知り合う機会となりました。又来年も開催してほしい、と多くの声をいただきました。来年も皆さんの意見をもとに楽しい機会を作っていきたいと思います。



就労分科会

就労支援対策を学習しました

6月26日(水)、今年度初回の就労支援分科会を八女市社会福祉協議会 2F にて開催しました。

まず、福岡県障害者雇用係の犬塚健吾氏より「福岡県における障害者雇用対策」について話していただきました。身近な地域で関係機関のネットワークを形成し、就業面、生活面の一体的・総合的な支援を提供する「障害者就業・生活支援センター」の指定状況、特例子会社との連携、中小企業における障害者雇用拡大のための企業とのマッチング、また特別支援学校生徒の就職の拡大を図るため、学校との連携強化等を話していただきました。

続いて、ハローワーク八女秋山聡子氏より「障がい者トライアル雇用事業について」話して



ハローワーク八女 秋山氏

いただきました。障がい者トライアル雇用とは、就職が困難な障害者を一定期間雇用することにより、その適正や業務遂行可能性を見極め、継続雇用への移行を目指すことを目的としています。質疑応答では、犬塚氏に対して「特別支援学校の職場体験の場を増やしてほしい」「ジョブコーチの支援対象となる人は？」等の質問があり「今後検討していきたい」「まずは登録から」と説明がありました。秋山氏へは「求人検索の際に、トライアル求人だけ検索することはできるのか?」「どんな形で企業に啓発しているのか?」等の質問があり、わかりやすくお答えいただきました。

リーベルに集う 仲間たち ①

リーベルには相談援助を通じての交流
が始まった方々がたくさんいます

6月に発足した障がい児（3歳児未満）の親の集まりの会に名前が付きしました。その名は「あごら」です！ギリシャ語で「人の集まる場所」。「あごら」は、毎月1回、やめっこ未来館に集まっているグループですが、子どもと遊びながら、思いを語り合うお母さんたちの光景が見られます。今回は皆でチーズケーキを作りました。西尾ママが先生です。楽しい時間をすごすことができました。



初・企画

西尾ママのLet's cooking! 簡単レシピ★
今回は「バイクドチーズケーキ」



<作り方>

- ①オレオクッキーを袋に入れて、棒で叩いて粉々にくだく。サークル型に敷く。
- ②生クリームを鍋で温める。沸騰したら、火を止めて、砂糖とホワイトチョコを入れる。
- ③ミキサーに、クリームチーズと②を入れて混ぜる。
- ④③に卵を入れて、混ぜる。
- ⑤①に④を流し込む。サークルの底を叩き、空気を抜く。
- ⑥あらかじめ170℃で温めておいたオーブンに、⑤を入れ、170℃で40分焼く。
- ⑦焼きあがったチーズケーキを冷まし、粗熱をとる。
- ⑧切り分けてできあがり！

1日おいて、冷やしておくと生地がしまっておいしい！

★準備するもの★

[18cm サークル型：1台]

(底がぬけるタイプ)

- ・砂糖 (35g)
- ・クリームチーズ 200g
- ・生クリーム 200g
- ・オレオクッキー 1袋
- ・ホワイトチョコ 45g
- ・卵 1こ

障害者虐待と思ったら

～ いつでもお電話ください

090-2580-0294

障害者虐待通報ホットライン

このホットラインは、障害のある方たちを虐待から守り、また防ぎ、支援するための相談窓口です。24時間・365日受け付け、専門相談員が対応いたします。

八廿市障害者虐待防止センター

八廿地区障害者基幹相談支援センター リーベル

～ こんな時は虐待かもしれません

- ・身体に小さな傷や火傷の跡がひんぱんに見られる
- ・傷やあざの説明のつじつまがあわない
- ・急におびえたりこわがったりする
- ・無力感やあきらめ、なげやりな様子、顔の表情がなくなる
- ・身体から異臭がしたり、同じ服を着ている。栄養が足りないようにみえる
- ・サービスの利用料や公共料金が払えていない
- ・年金や賃金がどうなっているのか本人が知らない

スタッフ異動のお知らせ

お世話になりました

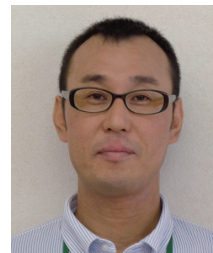


<退職> 池岸 総子

地域活動支援センター「ゆうゆう」とリーベルを通し、3年4カ月と短い間でしたが、八女のあったか〜い方々と出会い、思い出の地となりました。お世話になりました皆様、本当にありがとうございました。



よろしくお
願いします



これまで精神担当であった平河に加え、新たに橋爪達馬と岩永典子の3名による交代制の対応となりました。